

授業科目(ナンバリング)	博物館実習 B (CB309)			担当教員	落合 知子		
展開方法	講義	単位数	1 単位	開講年次・時期	3 年・通年	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
学芸員の実務技術を学ぶ。博物館実習は、学芸員の心構え及び礼節を身に付け、知識や技術を修得する。この実習で身に付けた知識及び技術を博物館実習 C（館務実習）で活かすことができる。							②⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	学芸員の仕事に関心を持ち、学芸員に求められる技能や知識を修得できる。				授業への参加度	60%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	博物館活動を理解することができる。 学芸員の仕事を理解し、説明できる。				実技テスト	30%	
多様性理解力	資料に関する情報を理解できる。				小テスト	10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価は、授業参加及び態度 60%、実技試験 30%、小テスト 10%を総合して行ない、後日、授業でフィードバックする。 15 名定員の少人数制の実習であることから、他の受講生と協力して実習に参加することが重要であり、コミュニケーション(協調性)力が求められる。 特に資料の取り扱いは集中力と真摯な態度で臨まなければならない。							
授 業 の 概 要							
学内実習は前期 15 回、後期 15 回行う。 前期は歴史資料の取り扱い方法と作法を修得し、写真撮影や資料調査方法を学ぶ。後期は紙資料の修復技術、ワークショップの指導員としての技術を身に付ける。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：『博物館実習教本改訂版』落合知子編 2018 参考書：特に指定しない 指定図書：『博物館実習教本改訂版』落合知子編 2018							
授業外における学修及び学生に期待すること							
博物館実習 B は、学芸員資格を取得する必修科目の中で最も重要な科目である。日頃より博物館を見学し、博物館を身近なものにすることを期待する。また、意欲的かつ真摯な受講態度を要求する。授業中の私語・携帯電話・飲食及び理由のない遅刻・途中退出は認めない。また、博物館実習費として 10000 円を大学に納入しなければならない。(別途実習教本代 1000 円)							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習
1	オリエンテーション	博物館実習についての説明。	シラバスの確認。
2	資料の取り扱い①	博物館資料の取扱いの心得・学芸員の心得。	資料取扱いの復習と予習
3	資料の取り扱い②	箱・四方掛け・包み。	四方掛けの復習と予習
4	資料の取り扱い③	掛け軸の説明と取扱い方法。	掛け軸の復習と予習
5	資料の取り扱い④	掛け軸の取扱い。	掛け軸の復習と予習
6	資料の取り扱い⑤	掛け軸・卷子本の取扱い。	卷子本の復習と予習
7	資料の取り扱い⑥	刀剣の説明（銃刀法）。	銃刀法の復習と予習
8	資料の取り扱い⑦	刀剣の手入れ方法。	刀剣の復習と予習
9	資料の取り扱い⑧	刀剣の手入れ方法。	刀剣の復習と予習
10	資料の取り扱い⑨	甲冑の説明。	甲冑の復習と予習
11	資料の取り扱い⑩	甲冑の展示方法。	甲冑展示の復習と予習
12	資料の取り扱い⑪	甲冑の装着方法。	甲冑装着の復習と予習
13	資料の調査法①	資料の調査方法。写真撮影。	資料の調査方法の復習と予習
14	資料の調査法②	パネル製作。	パネル製作の復習と予習
15	総論	資料取り扱いまとめ。	資料の取り扱いの復習と予習
16	拓墨	拓墨製作の説明・採扱説明。	拓墨の復習と予習
17	拓本	採拓。	拓本の予習と復習
18	拓本	採拓。	拓本の復習と装潢の予習
19	正麩糊製作	正麩糊製作。装潢技術の説明。	正麩糊・装潢の復習と復習
20	装潢	紙資料の修理・修復技術。	装潢の復習と復習
21	装潢	紙資料の修理・修復技術。	装潢の復習と復習
22	装潢	紙資料の修理・修復技術。	装潢の復習と予習
23	額装	紙資料の額装。	額装の復習と予習
24	額装	紙資料の額装。	額装の復習と予習
25	和装綴じ	和装綴じ。	和装綴じの復習と予習
26	和装綴じ	和装綴じ。	和装綴じの復習と予習
27	和装綴じ	和装綴じ。	和装綴じの復習と予習
28	和装綴じ	和装綴じ。	展示の復習と予習
29	レプリカ製作	封入標本。	レプリカ製作の復習と予習
30	資料取り扱い総論	掛け軸・卷子本・刀剣・甲冑取扱い総復習。	資料取り扱いの復習

授業科目(ナンバリング)	博物館実習 B(CB309)			担当教員	中島 金太郎		
展開方法	実習	単位数	1 単位	開講年次・時期	3 年・通年	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
テーマ：学芸員の実務技術を学ぶ 博物館実習は、学芸員の心構え及び礼節を身に付け、知識や技術を修得する。この実習で身に付けた知識及び技術を博物館実習 C（館務実習）で活かすことを目的とする。							⑦⑪
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力	学芸員に求められる技能や知識を修得できる。					実技試験	50%
情報収集、分析力	博物館活動を理解することができる。 学芸員の仕事を理解し、説明できる。					課題提出 ポスター 調書 ワークシート	5% 5% 5%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	学芸員の仕事に関心を持ち、他の受講生と協調性ある実習ができる。					授業への参加度 協調性	35%
多様性理解力							
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
15 名定員の少人数制の実習であることから、他の受講生と協力して実習に参加することが重要である。特に資料の取り扱いには真摯な態度で臨まなければならない。 なお、資料の扱いは、各単元終了時に確認テストを行い、第 30 回には最終確認の実技試験を行う。 確認テストのフィードバックは、授業内で随時行う。 また、ポスター、調書、勾玉づくりワークシートの作成及び提出を必須とする。							
授 業 の 概 要							
学内実習は前期 15 回、後期 15 回行う。前期は、歴史資料の取り扱い方法と作法の修得を中心とし、ワークショップの指導員としての技術、ポスター等作成の技術を学ぶ。後期は、調書作成、拓本、紙資料の修復技術の修得を中心とし、また展示技法の取得も目的とする。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：落合知子・中島金太郎編 2018『改訂増補版 博物館実習教本』長崎国際大学博物館学芸員養成課程 参考書：大堀 哲 2000『博物館実習 博物館学シリーズ 6』樹村房 全国大学博物館学講座協議会西日本部会 2002『博物館実習マニュアル』芙蓉書房出版 指定図書：日本博物館協会編 2012『博物館資料取扱いガイドブック』ぎょうせい							
授業外における学修及び学生に期待すること							
日頃から礼儀・礼節を心掛けること。 また、資料を取り扱うにあたり、常に周囲に気を配ること。（些細なことが事故に繋がる） 博物館実習費として 10,000 円、教本代 1,000 円を大学に納入しなければならない。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習・復 習
1	オリエンテーション	博物館実習についての説明（講義） 博物館資料の取扱いの心得・学芸員の心得（講義）	予：シラバスの確認。 復：配布資料の再確認。
2	資料の取り扱いⅠ	箱・四方掛け・包みの解説（講義）	『博物館実習教本』の1～6を読み、予習・復習
3	資料の取り扱いⅡ	箱・四方掛け・包みの実践	『博物館実習教本』の4、5を読み、予習・復習
4	資料の取り扱いⅢ	掛け軸の説明と取扱い方法	『博物館実習教本』の8～11を読み、予習・復習
5	資料の取り扱いⅣ	掛け軸の取扱い	『博物館実習教本』の10、11を読み、予習・復習
6	展覧会設計実習Ⅰ チラシ・ポスター製作	展覧会（フォトコンテスト）のチラシ・ポスター製作 （メディアルーム使用、Photoshop 使用）	「博物館情報メディア論」第11回の配布資料を確認し、予習・復習
7	展覧会設計実習Ⅱ チラシ・ポスター製作	展覧会のチラシ・ポスターの完成 （メディアルーム使用、Photoshop 使用）	チラシ・ポスター製作の予習と完成
8	資料の取り扱いⅤ	卷子本の取扱い	『博物館実習教本』の12、13を読み、予習・復習
9	資料の取り扱いⅥ	卷子本の取扱い	『博物館実習教本』の12、13を読み、予習・復習
10	資料の取り扱いⅦ	刀剣Ⅰ（発見～登録の方法、種類と保存・扱い）（講義）	『博物館実習教本』17～21, 30を読み、予習・復習
11	資料の取り扱いⅧ	刀剣Ⅱ（名所解説・保存方法と作法）	『博物館実習教本』の18～20を読み、予習・復習
12	資料の取り扱いⅨ	刀剣Ⅲ（保存方法、手入れ）	『博物館実習教本』の19、20を読み、予習・復習
13	勾玉製作Ⅰ	勾玉製作体験の説明（講義）、製作実習	勾玉指導の予習と復習
14	勾玉製作Ⅱ	勾玉の完成、ワークシートづくり	ワークシートづくりの予習と復習
15	勾玉製作Ⅲ	ワークシートの完成と相互評価	予：ワークシートの完成 復：相互評価表の完成
16	資料調査Ⅰ	歴史資料の調書作成（写真撮影、資料の計測等）	調書の書き方の予習
17	資料調査Ⅱ	自然史資料の調書作成（写真撮影、資料の計測等）	調書の書き方の復習
18	展覧会設計実習Ⅲ	写真展示用のパネル制作	「博物館展示論」第11回の配布資料を確認し、予習・復習
19	展覧会設計実習Ⅳ	写真展の展示を施工	調書の書き方の復習
20	拓本Ⅰ	拓本の概念（講義）	『博物館実習教本』の25、26を読み、予習・復習 『博物館実習教本』の26を読み、予習・復習
21	拓本Ⅱ	採拓	
22	拓本Ⅲ	採拓	『博物館実習教本』の26を読み、予習・復習
23	裏打・袋貼りⅠ	裏打紙・糊・刷毛の種類と特質（講義）、正麩糊製作	『博物館実習教本』の27～29を読み、予習・復習
24	裏打・袋貼りⅡ	拓本化粧断ちと裏打紙の用意、正麩糊製作	『博物館実習教本』の28を読み、予習・復習
25	裏打・袋貼りⅢ	裏打ちの実践	『博物館実習教本』の29を読み、予習・復習
26	裏打・袋貼りⅣ	裏打ちの実践	『博物館実習教本』の29を読み、予習・復習
27	額装Ⅰ	化粧断ち、裂、筋テープの準備	額装の予習と復習
28	額装Ⅱ	紙資料の額装	額装の予習と復習
29	資料の取り扱い総論	箱結びと掛軸の取り扱いの確認	資料取扱いの復習
30	資料の取り扱い総論	卷子本と刀剣の取り扱いの確認	資料取扱いの復習